

質 問 回 答 書

入札番号：総病管第2号

工 事 名：令和4年度 静岡県立総合病院 精神科病棟改修建築工事

No.	設計書 ページ及び 図面番号	質問内容	回 答
1	RA-16・27	(改修前) 1床室 470・469 のカーテンボックスにつきまして、仕上表(改修前)では残置になっておりますが、天井解体範囲図では撤去とあり相違します。撤去を正としますが宜しいですか。ご指示下さい。	RA-027 図の撤去を正としてください。
2	RA-16・27	(改修前) 4床室 461・462・480、2床室 477~479、1床室 476・477 の長押 H80 につきまして、仕上表(改修前)では撤去になっておりますが、天井解体範囲図では残置とあり相違します。残置を正としますが宜しいですか。ご指示下さい。	残置を正としてください。
3	RA-16・27	(改修前) 1床室 475 のカーテンレールにつきまして、仕上表(改修前)では撤去になっておりますが、天井解体範囲図ではカーテンレールが御座いません。撤去は不要としますが宜しいですか。ご指示下さい。	RA-027 図 凡例において、当該箇所はカーテンレール撤去となっております。図面のとおり撤去としてください。
4	RA-16・21	(改修前) 廊下 3 につきまして、仕上表(改修前)の備考欄に木製手摺、木製見切り撤去と御座いますが、本館 4 階撤去・解体・仮設計画平面図の廊下(3)壁面詳細図では木製手摺、木製見切りとも見られません。撤去無しとしますが宜しいですか。ご指示下さい。	RA-021 図の廊下(1)・(2)壁面詳細図を廊下(2)・(3)壁面詳細図に読み替え、廊下(3)壁面詳細図を廊下(1)壁面詳細図に読み替え、木製手摺、木製見切りとも撤去してください。
5	RA-16・21	本館 4 階撤去・解体・仮設計画平面図に無菌ユニット等撤去物(M1~5)が御座いますが、仕上表(改修前)の備考欄に記載のある無菌ユニット(手洗い、大便器)と考えて宜しいですか。また大便器手摺も含まれると考えて宜しいですか。合わせてご指示下さい。	RA-16 図 内部仕上表(改修前)備考欄に記載の無菌室の内容は特筆すべきものを記載したまでです。 手洗い、大便器及び同手摺を含むユニット全てを撤去するものとしてください。

No.	設計書 ページ及び 図面番号	質問内容	回 答
6	RA-16・21	本館4階撤去・解体・仮設計画平面図に記載のある無菌ユニット等撤去物（M1～5）以外の部屋の衛生器具（大便器用手摺除く）撤去は全て別途設備工事と考えますが宜しいですか。ご指示下さい。	貴見のとおりです。
7	RA-033	サッシ付額縁の撤去・改修の範囲につきまして、サッシ撤去部（AW-1E）の9ヶ所のみと考えますが宜しいですか。ご指示下さい。	貴見のとおりです。
8	RA-044 設計書 P44	個室（病状対応型フレキシブル個室）雑詳細図（3）につきまして、E-11 壁埋込各種スイッチ隠蔽ボックス詳細図に個室（1）～（6）各3ヶ所と御座いますが、設計書数量より各1ヶ所としますが宜しいですか。ご指示下さい。	貴見のとおりです。 RA-044 図の3カ所は1カ所と読み替えてください。
9	RA-5, 21, 27	特記仕様書（5）9章.1 に石綿含有建材の除去工事につきまして、調査範囲と採取場所が図示となっておりますが、調査範囲と採取場所共設計図に記載が無く不明です。ご指示下さい。	RA-021、027 図の撤去・解体範囲を調査範囲とし、採取場所は契約後受注者と協議します。
10	RA-5, 21, 27 設計書 P17	アスベスト含有建材につきまして、設計書 P7 に壁・天井合板・ボード撤去にアスベスト含有と含有でないものが御座いますがそれぞれの範囲が設計図では不明です。範囲をご指示下さい。	設計書 P17 における天井合板・ボード撤去の石綿含有の有無は、設計時点における想定であり、設計書のとおり積算してください。
11	設計書 P29	あと施工アンカーの施工範囲につきまして、設計書 P29 に9ヶ所と御座いますが施工場所が不明です。また仕様についても特記仕様書等に記載がなく不明です。合わせてご指示下さい。	既存 SU（撤去：468 室隣）、既存 UB（撤去：475 室内）の天井裏に吊りボルトが無いことを見こし、あと施工アンカーを見込んでください。

No.	設計書 ページ及び 図面番号	質問内容	回 答
12	RA-23, 24 設計書 P25, 26	平面詳細図 (1) (改修後) に耐火間仕切壁 : T3GP (LGS90@227.5) が御座いますが、設計書 P25 には、T3G : (LGS90@450) と (LGS100@450) しかなく相違しております。どの様に致しますか。ご指示下さい。	平面詳細図を正として積算してください。
13	RA-2, 13, 23 設計書 P5	西側通路エリアの床仕上げにつきまして、塗防 B と記載が御座いますが、特記仕様書 (2) 9. 塗膜防水は該当なし、記号凡例 (RA-13) の塗防 B も斜線となっております。設計書 P5 より記号凡例 (RA-13) の塗防 B としますが宜しいですか。ご指示下さい。	貴見のとおりです。
14	RA-15, 16, 28 設計書 27P	事務室他の天井仕上げにつきまして、設計図 RA-15・16・28 では、GB-D と記載が御座いますが、設計書 P28 では記載が無く、不燃積層せっこうボード (GB-NC) 化粧ありとなっております。どちらを正と致しますか。ご指示下さい。	設計書を正として積算してください。尚、契約後受注者と天井材の仕様について協議します。
15	RA-15, 16, 28	上記質疑に関連致しますが、上記回答が GB-D を正とした場合、設計図 (RA-16) に記載のある EP 塗装は不要と考えて宜しいですか。ご指示下さい。	天井 EP 塗りはけい酸カルシウム板面の塗装として計上していますので必要となります。
16	RA-16, 28	面談室の天井下地・仕上げにつきまして、設計図 (RA-28) には記載されておられません。設計図 (RA-16) に記載されております GB-D としますが宜しいですか。ご指示下さい。	貴見のとおりです。
17	RA-21	設計図 (RA-21) に記載のあります仮設間仕切りにつきまして、設置場所の天井高さ (H 寸法) が不明です。また、設計書 P6 に既存～仮設間仕切りシーリング 4m と御座いますが範囲が不明です。合わせてご指示下さい。	既存の壁と仮設間仕切り、既存の天井 (CH=2,400)、床面と仮設間仕切り廻りにシーリングを施し、数量は 19.2m 見込んでください。

No.	設計書 ページ及び 図面番号	質問内容	回 答
18	RA-26	設計図 (RA-26) に天井解体復旧図 (参考図) が御座いますが、解体・復旧ともに設備工事と考えますが宜しいですか。ご指示下さい。	貴見のとおりです。
19	RA-14, 23, 38	個室 (1)~(6) の間仕切壁につきまして、設計図 (RA-38) の壁に GW32 kg/m ³ 充填と御座います。設計図 (RA-23) の壁符号に G が付くものは全て t=50 32kg/m ³ 充填と考えますが宜しいですか。ご指示下さい。	貴見のとおりです。